



今回は麻しんの予防接種についてです。

若年層に麻しんが流行

麻しんは、子ども時代に感染して免疫ができるのが一般的でした。しかし近年は10代及び20代を中心に大学や高校で大流行し、社会的な混乱となりました。これは以前に比べ麻しんの流行が減ったことで10歳以上になるまで麻しんワクチンを受けなくても麻しんにかからずすんでいた方が増えていることや、小児の

時に予防接種をしても数年以上経過する免疫力が弱くなってしまうことが原因となっています。

麻しんとは・・・？

「はしか」とも呼ばれている麻しんウイルスによる感染症で、空気・飛沫・接感染で広がる感染力の強いのが特徴です。熱・咳・鼻水など風邪と同じ症状が始め、一度解熱しますが、また高熱が続き、全身に発疹が出ます。麻しんにかかった人の30%は気管支炎、肺炎、中耳炎、脳炎など合併症を引き起こし、中には死亡する場合もあります。「かかってもらいたくないことではない」「はしかにかかって免疫をつける」といったことは誤った認識と言えます。

予防接種を受けましょう

麻しんと先天性風しん症候群の予防という観点から麻しん風しん混合ワクチンでの予防接種を受けましょう。定期接種の1期と2期に加え、平成20年から5年間の期限付きで、中学1年生と高校3年生

に相当する年齢に対象が拡大されています。

1期…1歳から2歳未満

2期…小学校就学前の1年間にあつるもの(いわゆる

年長児)

3期…中学1年生に相当する

年齢にあるもの

4期…高校3年相当の年齢にあるもの

町では、平成21年度対象となる方に、接種期間や接種方法についてのお知らせを2期と4期の方は個別通知で、また、3期の方は中学校より連絡します。

麻しんの予防には2回の予防接種が有効です。流行するのは春先から初夏にかけてなので、対象となる方は必ず予防接種を受けましょう。



シリーズ サークル紹介⑫ 小川地囃子保存会

小川地囃子保存会は昭和63年3月20日に設立し、今年で21年目になります。

本会は常に地囃子を愛好し、

あれば小学生から大人までどなたでも入会できます。会費は大人のみ年2千円です。現在会員数は正会員12名、



準会員24名です。年度事業の主なもののは7月の夏祭りの山車巡行、9月の三和天祭り、11月の農協祭りなどに出演しています。普段は9月から3月までの間、毎月第2、第4土曜日夜6時から9時まで、小川公民館で練習しています。

お囃子リズムの楽しさは格別なものがあります。興味をお持ちの方は是非、参加してみたいいかがですか。

参加希望の方は、

小川地囃子保存会会長

和泉 實

☎ 0287・96・3088

または、星 和好まで

☎ 0287・96・2281

地囃子の保存に努めるとともに、要請があれば町の各種行事等に積極的に参加し、奉仕する事を目的としています。

希望者は那珂川町在住者で

広報文芸

俳句

日脚^{ひあし}伸ぶ祖母愛用のお針箱
春立つや立志の願ひ胸に秘め
廃校と決りし庭の桜かな
寒鯉のゆるりと月を吞まむとす
しんしんと天窓白き寒月光
初風呂や父弾痕の身を鎮め

松野 鶴川 良子
松野 青木 俊蓉
久那瀬 星 健彦
三輪 永森 悦子
下西の原 金井 和子
小川 和泉 澄雄

短歌

太陽はご馳走と云ふりビングに日向ぼっこする老夫婦なり
半日をたかが・・・されどと呟きつ妻はコトコトしもつかれを煮る
一本の筋雪月を抜けてゆく夜半の駅立つスリーナインか
トイレまで歩いてゆける幸せをしみじみと言ふ病後の友は
追儼^{ついな}の豆たつぷりと入りいて姑^{はは}が作れるしもつかれ旨し
にぎやかに下校の子らがやって来る解き放たれし小鳥のように

和見 影沢 よし
和見 藤田 和夫
馬頭 佐藤 節子
谷田 岡崎 甫子
三輪 石沢千代子
小川 吾妻 洋子

川柳

大丈夫手を振り手術室に入り
泣かないと沈む夕陽にまた誓う
約束を守った孫の目が光る
コーヒーもお茶も効かない脳の錆
強がりを背中であうホツカイ口

大山田下郷 佐藤 有紀
谷田 岡崎 友子
小川 平澤 照雄
小田 岡崎 甫子
小砂 笹沼 季子



新着図書

那珂川町 図書館



『少女』

湊かなえ／著 (早川書房)
高2の夏休み前、由紀と敦子は転入生の紫織から衝撃的な話を聞く。彼女はかつて親友の自殺を目にしたというのだ。その告白に魅せられた二人に、ある思いが浮かぶ。「人が死ぬ瞬間を見てみたい」。

デビュー作『告白』がベストセラーとなった著者の長篇第二作。

『鳥かごの詩』

北 重人／著 (小学館)

受験のための絶対条件は個室。山形からやってきた受験浪人の康男がようやく探し当てた下町の新聞販売店の個室は、「鳥かご」のようなタンボール仕切りの部屋だった。

新聞販売店の住み込みで働くのは、世を掬ねたような風変わりな面々で、康男も悪戦苦闘するのだが……。

時代小説に新たな地平を開いてきた著者が描く、あの頃の風景、そこかしこにあった人情、そして青春。



『ダーウィンと進化論』

大森充香／作 (丸善)

チャールズ・ダーウィンは、イギリス海軍の測量船ビーグル号で世界をまわり、たくさんの標本を集めて「進化論」を唱えました。

好奇心旺盛な少年が、どうやって偉大な博物学者になったのか。そのドラマチックな生涯と、一世紀以上にわたり激しい議論を巻き起こすことになる進化論を、豊富な挿絵と写真とともに、わかりやすく解説します。

- ◇ 『ポトスライムの舟』 津村記久子／著 (講談社)
- ◇ 『どうせ、あちらへは手からで行く』 城山三郎／著 (新潮社)
- ◇ 『希望ヶ丘の人びと』 重松清／著 (小学館)
- ◇ 『手』 山崎ナオコ／著 (文芸春秋)
- ◇ 『朝顔男』 唐十郎／著 (中央公論新社)
- ◇ 『反乱する管理職』 高杉良／著 (講談社)
- ◇ 『本日、サービスデー』 朱川湊人／著 (光文社)
- ◇ 『天皇陛下の全仕事』 山本雅人／著 (講談社)
- ◇ 『はじめての服作りレッスンノート』 百目鬼尚子／著 (文化出版局)
- ◇ 『よつちえんのいちにち』 ふじたひおこ／著 (佼成出版社)